

報道関係者各位

2026 年 9 月 28 日

株式会社 Managetech

複数の AI 社員が「チーム」で業務を丸ごと担う AI 社員プラットフォーム「MIERU CREW」提供開始

— 6 つの優先領域を対象に、承認・監査を備えた「AI 社員チーム」を
無料で設計・構築する PoC 参加企業を募集 —

※無料となるのは AI 社員チームの設計・構築支援です。利用環境の準備費用、外部サービスの利用料、生成 AI API の呼び出し料金は、参加企業のご負担となります。

株式会社 Managetech（東京営業所：東京都中央区、代表取締役：伊澤 伸、以下「Managetech」）は、AI 社員の仕事・コスト・統制状況を可視化しながら運用できる AI 社員プラットフォーム「MIERU CREW（ミエル クルー）」の提供を開始しました。

「MIERU CREW」は、1 体の AI エージェントに作業を頼むのではなく、役割の異なる複数の AI 社員が分担して、一つの業務プロセスを最後まで担う「クルー（チーム）編成」を特長としています。あわせて、経費精算・請求書処理・顧客対応など 6 つの優先領域を対象に、対象業務を担う AI 社員チームを無料で設計・構築する PoC（概念実証）への参加企業を募集します。

MIERU CREW は、オープンソースの AI エージェント実行基盤である OpenClaw をベースとした実行力に、企業利用で求められるセキュリティ、コンプライアンス運用、コスト統制のための機能を組み合わせたプラットフォームです。AI 社員の指示・判定・実行を可視化・記録し、人による承認が必要な操作を統制しながら、生成 AI の利用コストも一元管理できます。

背景：AI を「使う」段階から、業務プロセスを「任せる」段階へ

生成 AI の利用は広がった一方で、企業の実務導入では「どの業務を任せるべきか」「AI が実際に何をしているのか」「権限や外部通信をどう管理するか」「利用コストをどう統制するか」といった課題が残ります。複数の工程をまたぐ業務を AI に担わせるには、実行機能だけでなく、可視化、承認、監査、セキュリティ、コスト管理を一貫して設計する必要があります。

Managetech は、AI エージェント導入において生じやすい、利用コストの膨張、導入効果を定量的に説明できないこと、リスク統制の不備という課題に着目し、OpenClaw の実行基盤に企業向けの運用・統制機能を組み合わせた MIERU CREW を開発しました。

OpenClaw ベースの実行力を、企業向けの統制機能で補強

MIERU CREW は、AI 社員を動かすこと自体を目的にせず、組織が AI 社員の判断と実行を管理可能な状態で業務に組み込むことを目指しています。特に、セキュリティ・コンプライアンス運用とコスト統制を、AI 社員の運用に不可欠な仕組みとして実装しています。

強化領域	主な実装	運用担当者が確認・統制できること
見えるクルー	Office View、タスクボード、監査ログ	どの AI 社員が、どの業務を、どこまで実行したか。人への引継ぎや処理実績。
見えるセキュリティ／コンプライアンス運用	サンドボックス、外部通信の許可リスト、書き込み操作の 4-eyes 承認、Kill Switch	許可された範囲での実行、承認履歴、操作の即時停止。指示・判定・実行の監査証跡。
見えるコスト	AI 社員別の月次 LLM 予算、RouteHub によるモデル自動ルーティング、予算接近時の自動デグレード	AI 社員ごとの当月利用額と予算消化状況。難易度に応じたモデル選択とコスト抑制。

コンプライアンス運用とは、監査ログ、承認フロー、外部通信の許可リスト、書き込み操作の記録などを通じて、AI 社員の実行を組織の規程・権限設計に沿って管理することを指します。法令遵守を保証するものではありません。

LLM を自動で切り替え、性能とコストのバランスを最適化

MIERU CREW の RouteHub は、タスクやプロンプトの内容に応じて、高性能モデルとコスト最適モデルを自動で振り分けます。AI 社員ごとに月次の LLM 予算を設定でき、予算の上限に近づいた場合には、より低コストなモデルへ自動的に切り替える自動デグレードにより、利用を止めずにコストをコントロールします。さらに、API のレート制限に達した場合は代替モデルへ自動的に切り替え、処理を止めずに継続運用を支援します。

この仕組みにより、すべての処理で高コストなモデルを用いるのではなく、業務の難易度と優先度に応じたモデル選択を行えます。運用担当者は、AI 社員別の利用状況を確認しながら、予算・品質・処理量のバランスを調整できます。

「MIERU CREW」の設計思想：1 業務＝1 体ではなく、1 業務＝1 チーム

実務の多くは、受領、判定、記録、例外処理、報告といった複数の工程が連なって初めて完結します。MIERU CREW では、工程ごとに役割を持つ AI 社員を配置し、工程間の引継ぎと人間の承認ポイントを含めて一つの「ルール」として設計します。

たとえば経費精算では、領収書読取担当、規程判定担当、仕訳作成担当、エスカレーション担当、月次レポート担当が役割を分担します。工程を分けることで、どの段階で処理が止まったのか、どの判断が人間に委ねられたのかを監査ログ上で追跡できます。重要な書き込み操作は、4-eyes 承認を経てから実行されます。

工程	担当する AI 社員（例）	主な処理内容
① 受領	領収書読取担当	添付・メール・チャットから証憑を取得し、金額・日付・支払先を構造化。
② 判定	規程判定担当	社内の経費規程・上限額・勘定区分に照らして、可否と要確認事項を判定。
③ 記録	仕訳作成担当	勘定科目・部門・プロジェクトコードを付与し、会計システム向けデータを生成。
④ 例外	エスカレーション担当	判断が割れた申請を根拠とともに担当者へ提示し、承認センターに送付。
⑤ 報告	月次レポート担当	処理件数・自動処理率・差戻し理由の内訳を定期実行で作成。

主要機能と接続可能なアプリケーション・API

MIERU CREW は、AI 社員の採用から稼働、統制までを支援する SaaS です。Agent Store には、441 体のペルソナ、14 部署カテゴリ、41 の実行スキルが用意されています。自社専用の AI 社員・スキル・コネクタは、Persona Studio 上で設計・開発できます。

外部サービスとの連携では、公式コネクタ 5 区分、標準チャネル連携 3 種類に対応しています。さらに、REST API および MCP サーバーを用いたカスタムコネクタを追加できるため、既存の社内システムや個別の SaaS にも拡張可能です。カスタム連携は接続先ごとに設計するため、対応数に固定上限は設けていません。

連携区分	数	代表的な接続先・方式	主な活用例
公式コネクタ	5 区分	Gmail、freee、Google Drive、SharePoint／OneDrive（Microsoft Graph）、Web（ヘッドレスブラウザ）	メール・文書・会計データの参照や処理、Web 上の情報収集・操作。
標準チャネル連携	3 種類	Slack、LINE、Microsoft Teams	普段使うチャットから AI 社員へ指示し、返信・承認待ち通知を受け取る。
カスタムコネクタ	個別追加	REST API、MCP サーバー。その他の会計 SaaS、社内 API、公式・自社 MCP 等	既存の基幹システム、業務 SaaS、社内ツールと AI 社員を接続する。

カスタムコネクタは、Web UI 上で認証方式と利用ツールを定義し、テナント内の公開承認後に利用できます。読み取り操作は即時実行、書き込み操作は承認を経て実行する統制フローに対応します。

PoC 参加企業の募集：優先的に募集する業務領域（マルチエージェント編成）

Managetech は、複数の AI 社員が役割分担して一つの業務プロセスを完遂する「クルー編成」での構築を優先します。特に、複数ロールで分業しなければ処理しきれず、かつ承認・監査が必要となる業務を PoC の優先プロジェクトに設定します。いずれも海外で先行して取り組みが進んでいる領域であり、Managetech はこれらを日本企業の実務・規程に合わせて設計します。

優先領域	クルー編成の例	PoC で検証する主な KPI
① 経費精算・支出統制クルー	読取／規程判定／仕訳／例外処理／月次報告	自動処理率、規程違反の検知率、1 件あたり処理時間
② 請求書処理（AP）クルー	受領・抽出／三方照合／勘定付与／例外／支払稟議	タッチレス処理率、1 枚あたり処理単価、処理日数
③ 顧客対応クルー（一次～エスカレーション）	一次回答／事実確認／品質チェック／エスカレーション判定	自己解決率、人間への引継率、再問い合わせ率
④ 社内ヘルプデスク（情シス＋人事＋総務）クルー	一次受付／情シス担当／人事担当／総務担当／未解決の振分	自律解決率、再割当率、平均解決時間
⑤ インバウンド営業（SDR）クルー	問い合わせ受付／与件整理／情報補完／初回返信／商談化判定	一次返信までの時間、商談化率、創出バイプライン額
⑥ 契約書・稟議一次レビュークルー	条項抽出／基準照合／リスクフラグ／要約作成／法務承認依頼	1 件あたり所要時間、指摘の妥当性、差戻し率

上記 6 領域以外でも、繰り返し発生し、判断基準を明文化でき、複数工程と承認・監査を伴う業務についてはご相談を受け付けます。

PoC の進め方

本 PoC は、AI ツールを試用するだけの取り組みではありません。対象業務の現状値を確認したうえで、業務工程、AI 社員の役割分担、人が承認する操作の線引き、エスカレーション基準、月次の LLM 予算上限を定義し、試験稼働と効果測定までを支援します。

期間の目安	内容	主な実施事項
第 1 週	業務の棚卸しと現状値の測定	月間処理件数、1 件あたり所要時間、担当体制を確認し、比較の基準値を設定。
第 2～3 週	クルー設計	工程分解、役割分担、判断基準、入出力、承認・エスカレーション基準、LLM 予算を定義。
第 4～6 週	構築と試験稼働	AI 社員チームを構築し、サンドボックス環境で実データに近い条件で稼働。承認センターで処理内容を確認。
第 7～8 週	効果測定と判定	処理件数、自動処理率、人間への引継率、例外率、生成 AI コストを集計し、本番適用の可否を判断。

成功指標は、単に人間へ回さなかった割合ではなく、実際に完了した割合（解決率）と例外率を中心に設定します。これにより、未解決の案件が成果として計上されることを避け、品質を含めた業務適用の可否を確認します。

募集要項

項目	内容
対象企業	AI で代替・効率化したい定型業務、または継続的に発生する業務をお持ちの企業・団体。業種・規模は問いません。上記 6 つの優先領域に該当する業務をお持ちの企業を優先します。
募集数	先着 5 社程度（応募内容を確認のうえ決定します）。
PoC で提供する内容	対象業務のヒアリング、業務工程の分解とクルー設計、AI 社員チームの構築、試験稼働および効果測定の実施。
費用	本 PoC における AI 社員チームの設計・構築支援は無料です。ただし、利用環境の準備費用、外部サービスの利用料、生成 AI API の呼び出し料金は参加企業のご負担となります。金額は対象業務の内容と処理件数に応じて個別にご案内します。
期間	約 8 週間を標準とします（対象業務の内容により調整します）。
参加企業にご準備いただくもの	対象業務の担当者へのヒアリング機会、業務の判断基準となる社内規程・マニュアル等、効果測定に用いる現状の処理件数データ。
応募方法	株式会社 Managetech のお問い合わせフォームより、「MIERU CREW PoC 参加希望」と明記のうえ、対象業務の概要と月間の処理件数をお知らせください。
選考・進行	お問い合わせ後、業務内容と検証条件を確認し、PoC の実施可否および進め方を個別にご相談します。

応募・お問い合わせ先：<https://www.managetech.io/contact>

代表コメント

株式会社 Managetech 代表取締役 伊澤 伸

「AI を業務に定着させるうえで重要なのは、単に AI の性能を高めることではなく、社内の情報を適切に守りながら、利用コストを管理できる環境を整えることだと考えています。AI に業務を任せる範囲が広がるほど、機密情報の取り扱い、外部サービスへのアクセス、書き込み操作の承認、そして生成 AI の利用費用を、企業として統制する必要があります。

MIERU CREW は、複数の AI 社員が役割分担して業務を担う『見えるクルー』という考え方のもと、AI 社員の仕事とコスト、承認状況を可視化します。サンドボックス、外部通信の許可リスト、4-eyes 承認、監査ログ、Kill Switch といったセキュリティ・統制機能に加え、AI 社員ごとの予算設定や LLM の自動ルーティングにより、コストを管理しながら AI を運用できる環境を提供します。

今回の PoC では、参加企業の皆さまと実際の業務を起点に AI 社員チームを構築し、安全性とコスト管理を両立させながら、AI に任せられる仕事の範囲を具体化していきます。」

サービス概要

項目	内容
サービス名	MIERU CREW（ミエル クルー）
サービスサイト	https://www.mierucrow.com/
提供開始	2026 年 9 月 28 日
概要	AI 社員の採用、実行、可視化、承認、監査、セキュリティ、コンプライアンス運用、コスト統制を支援する AI 社員プラットフォーム。
料金	スタンダードプラン：月額 19,800 円（税別）。生成 AI API の呼び出し料金は別途かかります。詳細な提供条件はお問い合わせください。
主な提供内容	Agent Store（441 体の公開ペルソナ）、Persona Studio、定時実行、Slack／LINE／Microsoft Teams 連携、AI 社員別の月次予算・RouteHub によるモデル自動ルーティング、お客さま専用インスタンス、日次バックアップ。
オプション	高度な AI 社員の受託開発、既存システムとのコネクタ開発、オンプレミス／プライベートクラウドへの導入構成。

会社概要

項目	内容
会社名	株式会社 Managetech
代表者	代表取締役 伊澤 伸
設立	2021 年 11 月 15 日
資本金	260 万円
本店所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目 22 番 11 号 銀座大竹ビジデンス 2F
事業内容	コンピュータのソフトウェアの開発および販売、ならびにサービスの提供。情報処理サービス、情報通信サービスおよび関連コンサルティング等。
URL	https://www.managetech.io/

本件に関するお問い合わせ

株式会社 Managetech 広報担当

お問い合わせフォーム：<https://www.managetech.io/contact>

メール：info@managetech.io

参考情報・出典

本リリースに記載した機能、料金、コネクタおよび会社概要は、以下の公開情報に基づきます。サービス仕様・料金・提供条件は変更となる場合があります。

- ・ MIERU CREW 公式サイト：<https://www.mierucrew.com/>
- ・ MIERU CREW マニュアル「RouteHub の設定方法」：<https://www.mierucrew.com/manuals/routehub-settings.html>
- ・ MIERU CREW マニュアル「外部サービスを AI 社員に操作させる（API / MCP 連携）」：
<https://www.mierucrew.com/manuals/connector-operations.html>
- ・ MIERU CREW マニュアル「チャンネルへの連携方法」：<https://www.mierucrew.com/manuals/channels.html>
- ・ 株式会社 Managetech 会社概要：<https://www.managetech.io/aboutus>

※ 記載内容は本リリース配信時点の情報です。